

主催：NPO法人AHPネットワークス  
助成：公益財団法人トヨタ財団

# 現場から、研究から、 外国人介護士受入れのヒント

参加無料  
WEB  
セミナー

開催日：2021年10月16日(土)

時間：14時～16時30分

\*オンライン開催(ZOOM)

## ■開催趣旨

高齢者介護の担い手不足、その補完的対策として海外から介護士受入れが進んでいます。EPAは2008年にスタートして13年。インドネシア、フィリピン、ベトナムから5,000人以上が来日しました。更に介護留学生、技能実習介護、特定技能介護など新たなドアが開かれています。今後増加する外国人介護士、そのより善き受入れをどうデザインすればいいのでしょうか。

今回のセミナーは、受入れ経験豊富な現場の方と現場に深く関わっている研究者の両面からヒントを探っていきたいと思います。

## ■第1部 現場からの発信、そして研究からの提言

- 剣持 敬太氏 (社会福祉法人さつき会 袖ヶ浦菜の花苑 施設長)  
天野ゆかり氏 (静岡県立大学 経営情報学部 講師)  
宮澤美代子氏 (医療法人社団永生会 相談役)  
浅井亜紀子氏 (桜美林大学 リベラルアーツ学群教授)

## ■第2部 介護人材の海外送り出しと国際間移動の幸せな方向性

- マイアイン氏 (ベトナムCICS社 代表取締役)  
安里 和晃氏 (京都大学大学院 文学研究科准教授)

モデレータ：二文字屋修(NPO法人AHPネットワークス)



## ◀ 参加登録はこちらへ

諸般の事情により登壇者に変更が生じることがありますので、予めご了承ください。



# 登壇者プロフィール

## ■第1部

### 剣持敬太 氏

社会福祉法人さつき会袖ヶ浦菜の花苑施設長。  
社会福祉士／介護支援専門員。社会福祉法人で勤務しながら訪問介護員養成校主任講師・介護福祉士養成校非常勤講師も務める。2004年より外国人介護士受け入れ及び養成事業に従事。EPA第一バッチ受け入れ時より法人内介護福祉士受験対策講座主宰。2018年ベトナム語版「老年看護介護」出版委員として関わり2019年10月完成。座右の銘は「対人援助専門職は芸人であれ」。

### 天野ゆかり 氏

静岡県立大学経営情報学部講師。障害・リハビリテーション分野の看護師を経て、介護福祉士養成教育に携わる。外国人介護人材やアジア各国の高齢者ケアに関して調査研究している。  
主著に比留間洋一・天野ゆかり「なぜベトナム介護福祉士はEPAを離れたか？来日前の背景から」(地域ケアリング2019.7)、宮崎里司編著「外国人看護・介護人材とサステナビリティ持続可能な移民社会と言語政策」第4部第4章担当(くろしお出版2018)など多数。

## ■第2部

### MAI ANH(マイ アン) 氏

国際協力サービス(株) CICS社代表取締役会長CEO。  
1993年9月ハノイ外国語大学日本語学部(現ハノイ大学)入学  
1996年9月北海道教育大学留学(日本国文部省の奨学金による)  
芥川龍之介初期作品研究。  
1998年ハノイ大学日本語学部を卒業し、日系企業に就職。  
2009年1月ベトナム国共産党外務委員長来日に同行し、EPA交渉の通訳を務める。  
2015年ベトナムにて知的障害者の自立支援を目指すNPO法人G-CoCoRo設立。

### 二文字屋修 氏(モデレータ)

NPO法人AHPネットワークス執行役員。  
1994年から2008年まで「ベトナム人看護師養成支援事業」に携わる。2018年ベトナム語版「老年看護介護」出版委員として関わる。  
主著に川村千鶴子編「多文化共創社会への33の提言」外国人介護士の項担当(都政新報2021)、宮崎里司編「外国人看護・介護人材とサステナビリティ持続可能な移民社会と言語政策」第4部第5章担当(くろしお出版2018)、神村初美編「介護と看護のための日本語教育実践」第4章担当(ミネルバ書房2019)。

### 宮澤美代子 氏

医療法人社団永生会相談役  
総合相模更生病院、田名病院を経て、1990年永生病院に主任として就職後、師長、看護部長を歴任。  
十数年前から外国人看護師・介護士やEPA看護師・介護福祉士を積極的に受け入れている。病院の取り組みや課題など、国内外で積極的に講演を行い、メディアや行政に訴え改善のきっかけともなっている。ベトナムでは看護実践講習会を行っている。

### 浅井亜紀子 氏

桜美林大学リベラルアーツ学群教授  
お茶の水女子大学人間文化研究所人間発達科学専攻博士後期課程修了、博士(人文科学)。関心領域は文化心理学、国際移動と教育や職場における多文化共生。異文化コミュニケーション学会会長(2013年～2017年)。2009年より経済連携協定で来日したアジア系看護師・介護福祉士の研究を続けている。  
主著に浅井亜紀子・箕浦康子共著「EPAインドネシア人看護師・介護福祉士の日本体験-帰国者と滞在継続者の10年の追跡調査から」(明石書店2020)、「集団コミュニケーション」(実教出版2016)など多数。

### 安里和晃 氏

京都大学大学院文学研究科准教授。  
2000年より香港、台湾、シンガポールにおいて家事労働者、介護従事者の調査を実施。その後、アメリカ、スウェーデンにおける調査を通じ、ケアのグローバル化と国際分業論に関心を持つ。2004年頃より経済連携協定の交渉過程に関する調査に従事する。コロナ禍においてはフードバンク団体と提携して、国内の外国人世帯を中心に食糧支援に従事。200世帯(のべ1000世帯)に食糧を配布しながら生活実態に関するアクションリサーチを行っている。  
主著に「外国人介護人材の国際比較」(地域ケアリング2020)、編著「国際移動と親密圏—ケア・結婚・セックス」(京都大学学術出版会2018)など多数。

### NPO法人AHPネットワークス

医療法人柏葉会柏戸病院(千葉市)、医療法人弘仁会板倉病院(船橋市)、医療法人弘仁会ロータスケアセンター(船橋市)、社会医療法人社団さつき会袖ヶ浦さつき台病院(袖ヶ浦市)、社会福祉法人さつき会袖ヶ浦菜の花苑(袖ヶ浦市)、医療法人社団永生会永生病院(八王子市)、医療法人赤枝会赤枝病院(横浜市)、社会福祉法人千寿会(瑞浪市、浜松市)、メディケアリンク株式会社(大阪市)、医療法人健和会奈良東病院(天理市)、社会医療法人祥和会脳神経センター大田記念病院(福山市)、国際協力サービス・CICS(ホーチミン市)。

